

2023年10月27日

## 通貨ニュース

# フィリピン: BSP が緊急利上げを実施～資源高・輸入物価上昇も今後の懸念材料に

フィリピン中央銀行(BSP)は26日に臨時の金融政策会合を開催し、政策金利の翌日物リバースレポレートを従来の6.25%から6.50%へ引き上げた(図表1)。BSPの利上げは今年の3月以来の決定となった。また、上限金利の翌日物貸出ファシリティ(OLF)レートおよび下限金利の翌日物預金ファシリティ(ODF)レートもそれぞれ7.00%と6.00%となった。

BSPは臨時の利上げに至った背景として、将来的なインフレリスクの高まりに言及した。直近公表の9月消費者物価指数(CPI)は前年比+6.1%と8月の同+5.3%からまとまった幅で上昇、2か月連続で加速した(図表2)。内訳を見ると、食料品価格のインフレ寄与度が高まっており、米をはじめ天候不順を起因とした農産品価格の高騰が影響している様だ。先行きについて、最 EARLY 年内でのインフレ収束を見込んでおらず、来年以降に持ち越しとなる見方を示している。BSPは足許の中東情勢を踏まえたエネルギー価格の再上昇への警戒を強めている。この他、失業率も統計で遡れる範囲で過去最低水準を推移しており、労働市場のひっ迫が賃金インフレを長期化させている可能性も考えられる(図表3)。これらのインフレ要因を考慮した場合、24年のインフレ率は前年比で+4.7%まで上振れるとBSPは予想した。この前提の下では、24年においてもインフレはBSPの目標レンジ(+2.0~+4.0%)に収束しないこととなる。

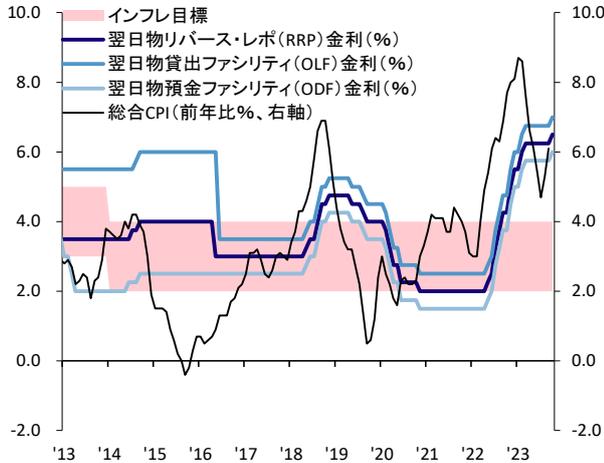
かかる中、BSPはインフレ期待がより安定し、インフレ率が持続的に低下基調となるまでは金融引き締めを継続する必要があるとの認識を示した。今回のインフレの再加速を踏まえてタカ派姿勢を強めた格好となったが、財政面での支援も相まって、中長期的な成長への悪影響は見込んでいないとしている。今後の利上げについてはデータを注視しながらインフレ抑制を第一に、物価安定の責務に則り必要な政策対応をする準備があったとした。レモロナ BSP 総裁は中銀のインフレ抑制対応が後手に回っている可能性に言及し、これが臨時の利上げにも繋がったと思われる。次回の会合は予定通り11月の開催となっているが、そこでの追加利上げも十分に考えられる状況となっている。

また、上記以外にも米国経済が引き続き堅調でFRBはタカ派姿勢を貫き、ドル優勢の相場となる中で、今後の輸入物価上昇を危惧したことも1つの要因であったと思われる。資源高及びPHP安の同時進行は昨年の米国の利上げ期間にも確認されており、これが輸入物価上昇と貿易収支の悪化を招き、BSPも事態の收拾のために大幅な利上げに着手することとなった。足許のPHPの動向は米金利上昇に押されて断続的に年初来安値を更新する地合いにあり、昨年同様、金利・実需の両面で通貨安リスクが高まっている状況にある。図表4に示される外貨準備高の水準に鑑みれば、PHP買いの為替介入の形跡が見られ、今後も局所的にPHP安への対応をしていくものと考えられるが、地政学リスクの高まりや世界経済の減速懸念など市場のリスク心理は上向きにくい地合いにあることは留意したい。今回の臨時利上げもPHP相場の方向感を変えるには至

金融市場部  
マーケット・エコノミスト  
堀 堯大  
03-3242-7065  
takahiro.hori@mizuho-bk.co.jp

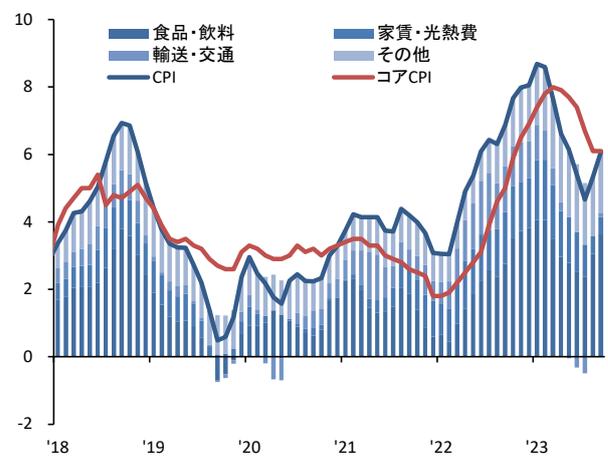
っておらず、FRBの政策動向や中東情勢を踏まえた原油価格動向、中国経済の回復状況など外部要因に左右される展開は継続しそうだ。

図表 1: 政策金利水準とインフレ目標



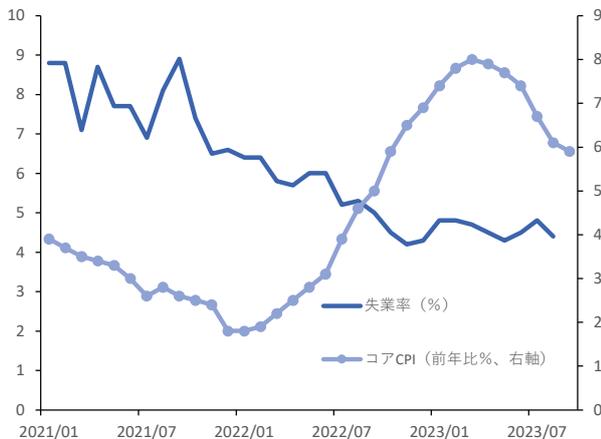
出所: フィリピン中央銀行、フィリピン国家統計局、Bloomberg、みずほ銀行

図表 2: 消費者物価上昇率の推移(前年比%、%ポイント)



出所: CEIC、みずほ銀行

図表 3: 失業率とコアCPIの推移



出所: CEIC、みずほ銀行

図表 4: PHPと外貨準備高の動向



出所: Bloomberg、みずほ銀行

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。